

## ● 最近の県内経済

### 基調判断

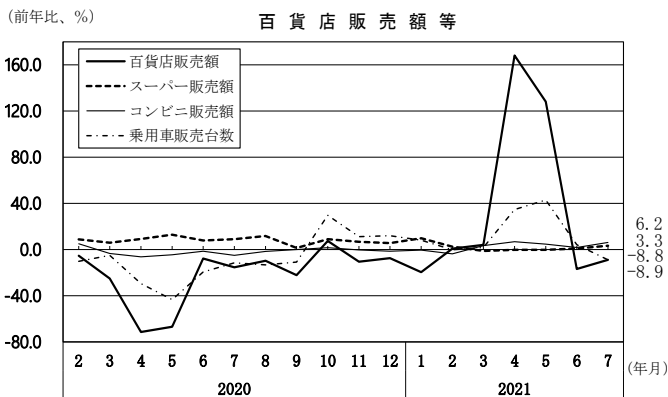
(2021年7月を中心として)



### 今月の概要

県内景気は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況にある。

## 1 個人消費 持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる



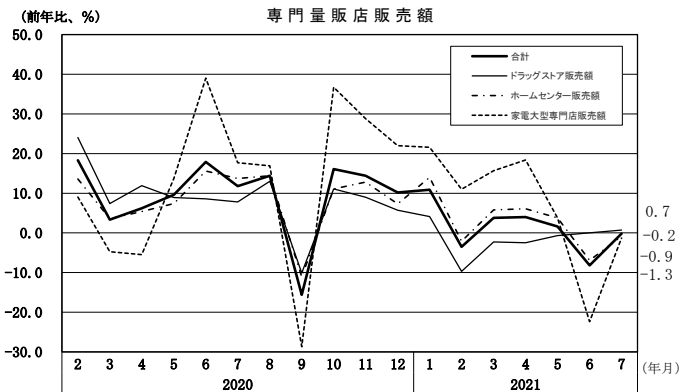
(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

個人消費は、2021年入り後、持ち直しの動きが続いているが、8-9月は、緊急事態宣言を受けて、飲食・サービス・イベント関連を中心に低迷したとみられる。

7月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が118億円で前年比8.9%減（2か月連続の減少）、スーパーは991億円で同3.3%増（2か月連続の増加）となった。一方、コンビニ販売は564億円で同6.2%増と、5か月連続の増加となった。

乗用車販売は、前年比8.8%減と5か月ぶりの減少となった。内訳をみると、普通車（同4.2%増）は10か月連続の増加となったものの、小型車（同12.5%減）、軽乗用車（同18.7%減）は、ともに2か月連続の減少となった。

スーパーやコンビニにおいては、引き続き巣ごもり需要が堅調に推移している。

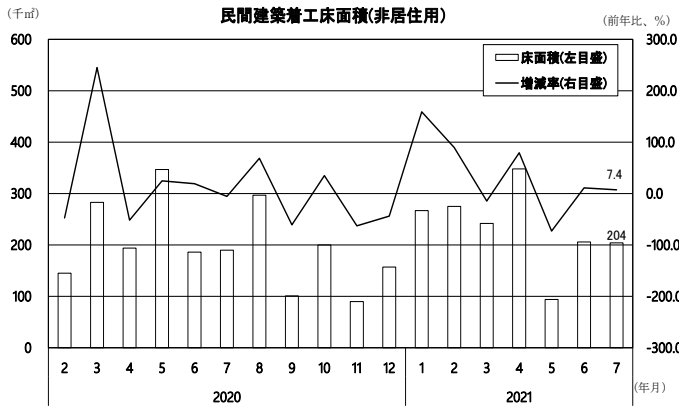


(資料) 経済産業省

7月の専門量販店販売額は、798億円で前年比0.2%減となった。内訳をみると、ドラッグストアが392億円で同0.7%増（2か月連続の増加）となったものの、家電大型専門店が217億円で同1.3%減（2か月連続の減少）、ホームセンターが189億円で同0.9%減（2か月連続の減少）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、6月〈38.2〉、7月〈37.3〉、8月〈36.5〉で推移している。

## 2 設備投資 持ち直しの動きがみられる



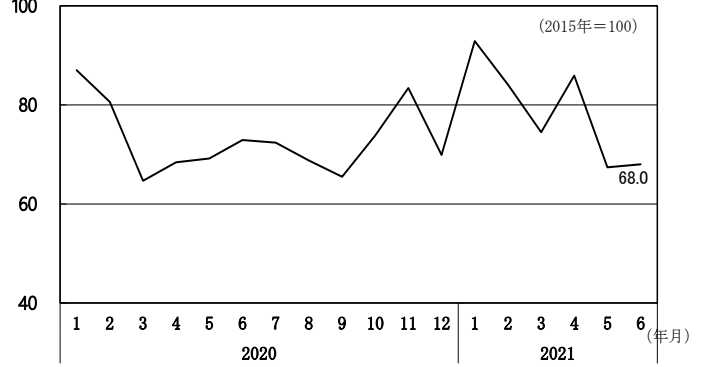
(資料) 国土交通省

米国、中国などの景気拡大を受けた輸出の増加や、旺盛な半導体関連需要を受けて、製造業で投資意欲が活性化しているほか、昨年コロナ禍で見送りの案件の実行も幅広い業種でみられる。

7月の民間建築着工床面積(非居住用)は、204千㎡で前年比7.4%増となった(5か月後方移動平均では前年比8.8%減)。

用途別にみると、事務所、店舗、病院・診療所は減少したものの、工場及び作業場、倉庫はいずれも増加した。

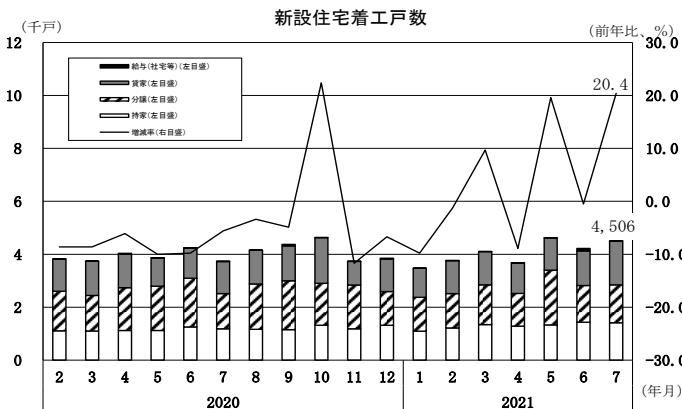
## 資本財出荷指数 (季節調整済)



(資料) 埼玉県

6月の資本財出荷指数(季節調整済)は68.0で、前月比0.9%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比5.0%減)。

## 3 住宅建設 持ち直している

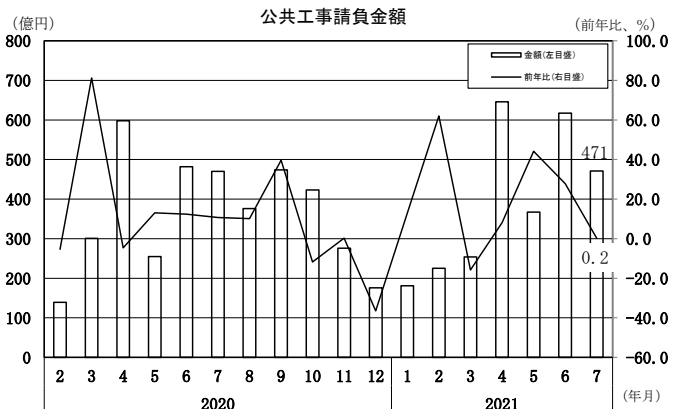


(資料) 国土交通省

コロナ禍で低調だった昨年の反動増に加え、郊外で広い家を求める動きもあって、本年入り後持ち直している。

7月の新設住宅着工戸数は、4,506戸で前年比20.4%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、7.6%増)。利用関係別にみると、分譲マンション(194戸)が同29.5%減となったものの、持家(1,413戸)が同19.5%増、貸家(1,659戸)が同37.7%増、分譲一戸建(1,234戸)が同19.3%増となった。

## 4 公共工事 増加基調

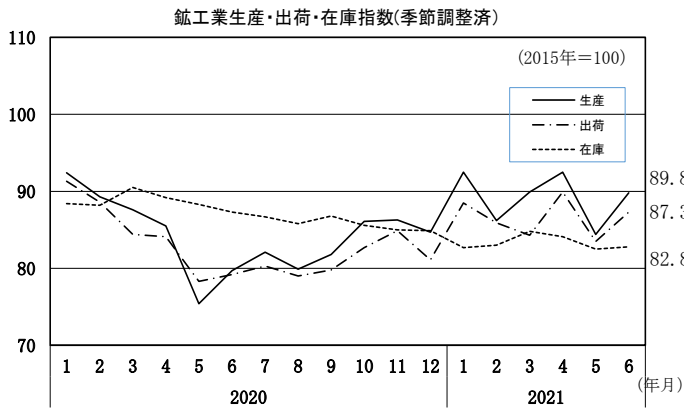


(資料) 東日本建設業保証株式会社

政府の2020年度補正予算における公共事業関係費の大幅上積みなどを受けて、増加基調にある。

7月の公共工事請負額は、471億円で前年比0.2%増となった(5か月後方移動平均でも前年比11.8%増)。発注者別で見ると、独立行政法人等、都道府県、市区町村は減少したものの、国、地方公社はいずれも増加した。

## 5 生産活動 持ち直し基調にある



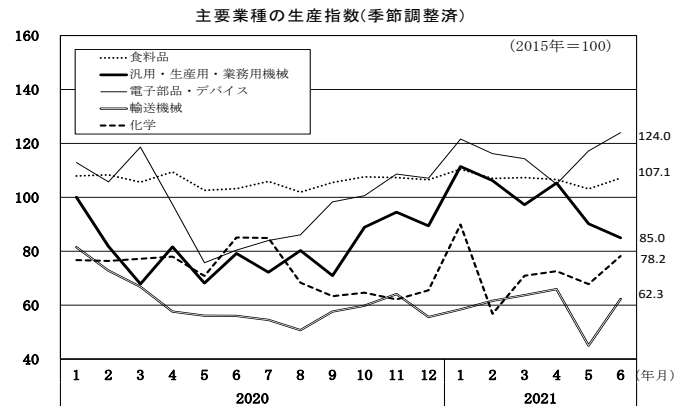
(資料) 埼玉県

米国、中国などの景気拡大を受けた輸出の増加や旺盛な半導体関連需要を受けて、本年入り後は持ち直し基調にある。

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、89.8で前月比6.4%上昇(2か月ぶりの上昇)。業務用機械(パチンコ、医療用機械器具)、木材・木製品(特殊合板)などが低下したが、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが上昇した。

出荷指数(同)は、87.3で同4.6%上昇(2か月ぶりの上昇)。業務用機械(パチンコ、医療用機械器具)、木材・木製品(特殊合板)などが低下したが、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、非鉄金属(伸銅製品、ダイカスト)などが上昇した。

在庫指数(同)は、82.8で同0.4%上昇した(3か月ぶりの上昇)。情報通信機械(ガス警報器)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下したが、汎用機械(ポンプ、圧縮機)、電気機械(クッキングヒーター、鉛蓄電池)などが上昇した。



(資料) 埼玉県

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、107.1で前月比3.9%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

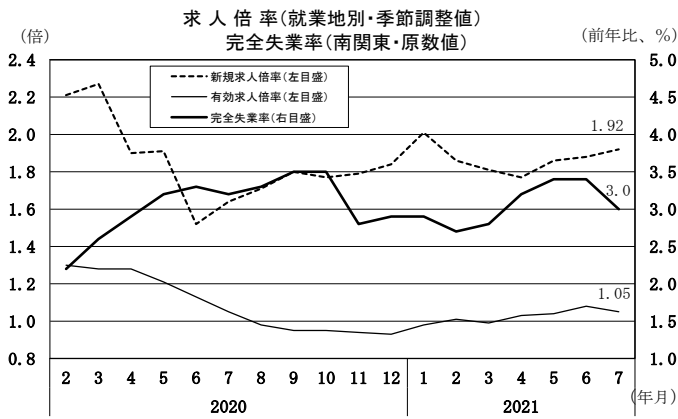
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、85.0で同5.7%低下し、2か月連続の低下となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は、124.0で同5.8%上昇し、2か月連続の上昇となった。

◆ 輸送機械(同)は、62.3で同38.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 化学(同)は、78.2で同15.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 弱い動き



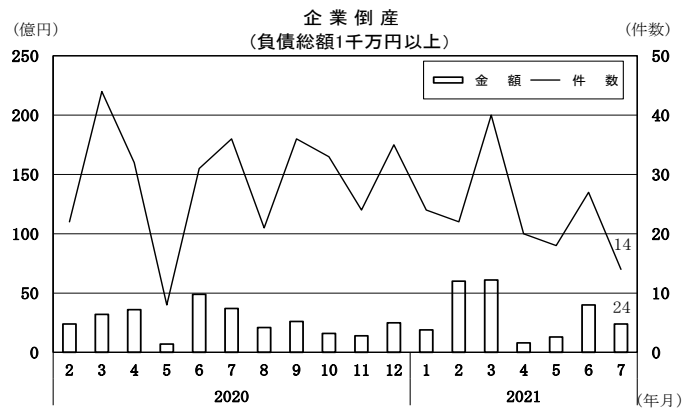
(資料)厚生労働省、総務省

昨年のコロナ感染拡大に伴い、対面型サービスを中心に経済活動が抑制された影響から、弱い動きが続いている。

7月の有効求人倍率(就業地別、季節調整済)は、1.05倍で前月比0.03㊦低下した(4か月ぶりの低下)。一方、新規求人倍率(同)は、1.92倍で同比0.04㊦上昇した(3か月連続の上昇)。

完全失業率(南関東、原数値)は、3.0%で前年同月比0.2㊦低下した(前年同月比18か月ぶりの低下)。  
※有効求人倍率、及び新規求人倍率は、受理地別から就業地別(埼玉県内を就業地とする求人数を用いて算出した求人倍率)の季節調整値に変更。

## 7 企業倒産 一進一退



(資料)帝国データバンク

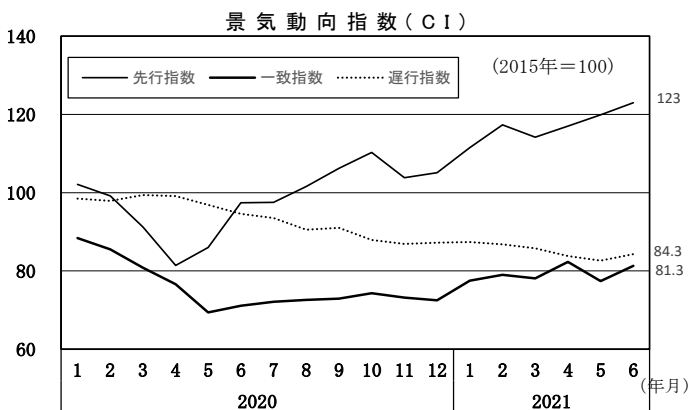
コロナ対策としての政府の資金繰り支援策もあって、低水準で推移している。

7月の企業倒産件数は、14件で前年同月比22件の減少となった。負債総額は24億円で同13億円の減少となった(5か月後方移動平均でも、件数は前年比21.2%減、金額は9.6%減)。

業種別にみると、サービス業が5件で最も多く、次いで建設業3件、卸売業、小売業、運輸・通信業それぞれ2件と続いている。主因別では、販売不振が10件となっている。

## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI)改善を示している



(資料)埼玉県

6月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、81.3で前月比3.9㊦上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、123.0で同3.1㊦上昇し、3か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、84.3で同1.7㊦上昇し、5か月ぶりの上昇となった。